

自己評価および外部評価票

「自己評価の実施状況(太枠囲み部分)」に記入をお願いします。(セル内の改行は、(Alt+Enter)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	前回の外部評価以降、職員全員でご利用者が地域に住む多世代の人々と関わりを持ちながら、その人らしく意欲的に生活できるように理念を掲げ実施してきた。	職員が参加して作り上げた理念を掲示し、朝の申し送りの時に読み上げて確認し実践につなげている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区費の支払い、ゴミ当番、回覧板を回してもらうなど隣組として参加している。区の輪投げ大会に参加、町内マラソンの応援他展示会などの見学、社協ボランティアとの交流を行った。	地域のゴミ当番をしたり、行事に参加している。ヒューマン便りを地域で回覧するようになっていく。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「ヒューマンヘリテージ便り」を発行し区域の人々、子どもから年配の方、親子同伴など自由にホーム訪問して頂けるようにし、利用者と実際に接して頂き、理解や支援方法を知っていただくように働きかけてきた。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	区域のホームへの要望、自分を含め家族や知人が将来利用できるように交流を深め、開かれたホームにするために率直なご意見を伺い参考にして交流を始めている。	区長、行政職員、家族代表、職員の参加の下、2~3ヶ月に1回開催している	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の住民のホーム利用、あるいは入居に関し積極的に働きかけ、町あるいは地域密着の他、市町村の必要など情報収集に努めている。	運営推進会議に行政からの出席がある。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修にて学んで、日々のケアに生かすよう努力している。やむを得ず拘束、制限の必要時は、家族に承諾を得て、利用者にも十分納得して頂いた上で実施している。	内部研修で、身体拘束について学び、身体への直接の拘束は見られなかった。玄関の施錠もなく、階段入口の柵も外されていて、利用者は自由に行動できるようになっている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修において学び、実践に努めている。		

ヒューマンヘリテージ小布施

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については資料回覧し、研修している。 個々の必要に合わせた話し合いや活用はされていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	今年度、利用者の退去、新入居者の受け入れの際、説明や話し合いにより、安心して利用できるようにした。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	一人一人の利用者とコミュニケーションをとり、率直に気持ちを表現して頂き、傾聴に努め、すぐに要求に応じる努力をしている。 家人からの意見、要望にもすぐに対応できるように努めている。	家族から言われたことは、連絡記録帳に記帳され、検討が必要なことは職員の全体会議で検討されている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々、職員との良いコミュニケーションをはかり、自由に職員の意見が言えたり、提案を取り入れ、働きやすい環境作りに配慮している。	全体会議が月1回開かれ、自由に発言できる。また管理者へ日常直接提案できるように、携帯電話番号が教えられている。	全体会議は開かれており、職員も意見を言いやすい環境は整えられているが、離職率の高いこと、特に管理者の異動が激しいことは、利用者家族に不安感を与えている。職員の定着する環境作りが必要と思われれます。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員の要望にできるだけ答えて下さる誠実さがあり、率直に話し合いさせて頂けている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修受講者は、月1回の全体会議で報告をし、全職員で研修内容の共有化を図っている。 また、代表者もスタッフ全体の各時期に必要なと思われる研修を与えている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム間のネットワークに参加している。 互いの情報交換をし、ネットワーク内での研修、交流会にも参加。訪問見学実習にも参加した。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人がリラックスし安心して自分らしく過ごして頂けるよう、本人の言葉に傾聴し、動作や表情から心情を察し、すばやく対応できるように努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と共に何度か訪問して頂きお話を伺って、できるだけ要望に沿うように努め、何でも自由に話せる良い関係づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅のケアマネと十分に連絡を取り、情報収集に努め、引き続きケアを継続し、まず必要な支援を十分行えるよう努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が感謝の言葉やねぎらいの気持ちを職員に伝えたり、家族の一員のような暖かい馴染みの関係を築いている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日々の生活の様子、体調の変化の際は、その都度、知らせしている。又行事の写真や載せコメントを添え、最近の様子を知らせる「ヒューマンヘリテージ便り」も独自で発行し、家族と良い関係を築く手助けをしている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日々の会話やレクリエーション、歌を歌う際、回想法施行時、馴染みの人や場所を思い起こし、懐かしんで頂いている。そうした場所へのドライブや訪問の際にも十分楽しんで頂いている。	利用者の友だちの訪問がある。 馴染みの場所へドライブを楽しんでいる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホーム内での作業やレクリエーション、その他の交流時にもなるべく、一つのテーブルで皆が顔を合わせて楽しめるよう工夫し、トラブルが起きないように十分配慮に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今年、一人のターミナルケアを経験させて頂いたが、退居後もご家族の精神面のケアに努め、何度か暖かい感謝のお手紙やお電話を頂けた。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の口にする言葉に耳を傾け、その中から本人の意向を汲み取る努力をしている。	本人との会話、面会に来てくれる家族との話から本人の好きだったこと、職業、食べ物の好みなどを聴きとっている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に入居者の「基礎情報」を家族から聞き取り作成し、より本人の希望を叶えられるよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心情の変化、通常と違う言動した際は、連絡ノートに記載し、職員全員で把握し、分析しふさわしい対応ですぐに応じられるよう努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個人情報をもとにケアプランを作成している。 入居者全員のケアプランをカードデックスに入れ、すぐに見て変化に対応できる工夫をしている。連絡ノートに毎日重要事項の伝達し共有している。	職員が毎日書き留めている重要事項伝達ノートに基づき、ケアマネージャーがケアプランを作成している。	ケアマネージャーだけで作成するのではなく、職員の参加による利用者個人ごとの検討会議(ケース会議)でケアプランを作成していくことで、職員が共有し実践できるケアプランになっていくと思われま す。チームでケアプランが作られるように
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録に事実の観察項目や言動を記入し、実際に対応した内容と、得た情報を記入している。また、気づきの項目もあり、必要なものはケアプランのカードデックスの中へ記入し見直しを実践している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	役所の手続き代行、病院への付き添い、理容院への出張依頼などを行っている。		

ヒューマンヘリテージ小布施

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署の職員の立会いのもとに、利用者全員と避難訓練を行った。 また、区の輪投げ大会にも参加、応援でほとんどの方が出席し、区民と交流できた。 町のボランティアの方とも趣味を通じ交流できた。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	高齢化、重度化に伴い受診する機会が増し、家族ではすぐに対応できない場合が多く、職員がゆだねられ、付き添い、主治医との連携を蜜にとり素早い対応に取り組めた	主治医はグループホームと提携している医療機関に変更して貰ったが、そうすることで医療との連携もとれ、往診も依頼できるようになっている	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携加算申請もしており、24時間体制でいる看護師との連携を蜜にとり、素早い対応に取り組めた。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	今年度の入院者はいなかった。前年度入院時は、度々職員が見舞いに訪問し、安心して入院できるよう、又医療者とも情報交換し、状態の把握は退院に備えることができた。今後も同じように対応したい。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	一人の利用者を看取り、ターミナルケアから多くを学べた。 事前に家族とスタッフ、医師と十分話し合いがなされたが、互いの介護観のずれや理想と現実のずれなど、今後の課題を見出すことができた。	スタッフの配置や常勤看護師の不在から、現在は終末期の対応は、それぞれ相談の上決定することとした。重度の医療が必要な場合は、グループホームで過ごすのは困難であると考えている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の実際の対応(判断から処置、受診など)の経過の伝達をした。 介護職の気づきからすぐに看護職に相談、報告あり、速やかに対応できた。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、消防署員の講話後、利用者、スタッフ全員での避難訓練を実施し、今後の課題も見出すことができた。 夜間訓練は職員一部のみで実施した。	消防署の指導の元、避難訓練が行われた。夜間は、近くの駐在所の見回りがあるので、職員一人の夜勤も、安心感につながっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に優しく豊かな接し方、敬語を使い会話をしている。 契約書にも個人情報の取り扱い項目があり、説明している。外部からのお客様を受け入れることも家族に了解を得ている。	ゆっくりとしたペースで、丁寧な言葉かけが行われている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意見や希望を否定せず、最後まで傾聴している。 苦情や不満など表現しにくい事も日頃から良いコミュニケーションをとり、言いやすい関係作りをしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールはおおよそ決まっているが、一人一人の体調、希望に沿い、食事時間、メニュー、一日の行動スケジュールを柔軟に対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着衣時、本人に選んで頂いている。 一日中、パジャマでいる事のないよう日中は更衣して頂いている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者が色々な役割を持ち、食事の作り、配膳、エプロンの準備、使用する食器を運び盛り付けするなどして参加している。 参加できない方も食事の準備を見て楽しみにされている。	食事の準備に参加し、楽しんでおいしいと言いながら食事をしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考えた献立と、食欲低下や十分栄養を取り入れられない方については、食事摂取量、水分摂取量をチェックし、摂取しやすいように刻み食、ムース食、好きな食品など提供し、補うよう調整している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔保持に努め、口腔ケア時、口腔内のトラブルの有無をチェックし、適したケアができるよう、スタッフ間で情報を伝え合っている。 必要時、歯科受診やドクターの往診を利用している。		

ヒューマンヘリテージ小布施

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	気持ち良く排泄できるよう、定期的にトイレ誘導し、ゆとりのある仕方でお尿を待つよう支援している。 オムツの使用を減らすため排泄状態に合わせたオムツの選択と当て方の工夫をしている。	カテーテルを抜いた後、自尿の支援を行い、おむつは使用しているが、自尿になった人がいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	各自の排便パターンに合わせ、水分の調整、緩下剤の使用調整や乳製品を毎日飲用するようにしている。 又運動不足解消に軽体操、レクを実施している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	床暖房により、冬期の寒い時期にもいつでも快適に入浴ができる。 各自、定期的に入浴も、汚染時や皮膚のトラブルのある方は頻繁に入浴するように配慮している。	一人一人の希望に合わせており、利用者同士と一緒に入浴したいという希望にも応えている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の希望や、スタッフが観察して休息が必要と思われる時は、ホールフロアに長座布団を敷いてあり、いつでも休める。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ各自は、大体理解しているも、スタッフの入れ替えがあり、完全には網羅できていない。 一日のリーダー業務者は、心得、責任をもって配薬管理している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の支度の手伝い他、日々の生活の中で必要な仕事の手伝い、秋には栗広いや庭掃除、草取りなど各自できる範囲で行っている。 日々のレクリエーションやゲームを行った後、行事にも出かけている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、なるべく車椅子の方々も共に、散歩に出かけている。また、年に何回かの行事時は、家族や地域のボランティアをつのり出かけている。 秋の行楽は大型タクシーを借りて山田牧場まで出かけた。	散歩、買い物は日常的に支援している。周りの環境が良く、散歩には適している。	

ヒューマンヘリテージ小布施

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、一人の方は、小額のおこづかいを持っており、病院や医院の受診の時、窓口で自分で支払う事がある。 他の方は、職員が管理している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	「家に帰りたい」と訴える方には事務所から電話をかけ、家人とゆっくり話して頂いている。 また、暑中見舞いや年賀状を一人一人が塗り絵をして、一言そえて家人に出している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床暖房になっており、適度な暖かさに設定されている。 リビングも落ち着いた感じになっており、壁には季節を思い出せる塗り絵の作品を飾ってある。	明るい開放的な作りになっている。床暖房は快適であり、またこたつも置かれていて、そこで休むこともできる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一つのテーブルを囲み、楽しくビデオやテレビをみたり、レクリエーションを楽しんでいる。 また、休みたい人は、ホールの座布団で横になって休んだり、居室で休む方もおられる。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、トイレ、洗面所が設置されている。 また、入居前までの生活用品が持ち込まれ、その人らしい居室となっている。 湿温度計も設置しており、加湿器もおいてある。	本人が使用していた馴染みの物が、居室にある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所用品の片付けができるよう、引き出しにネームを付けている。 毎日の仕事にできるかぎり、いろいろな形で携わって楽しんだり、他者からほめられたり、感謝される機会を作っている。		